

センタウミアメンボ *Halobates germanus*

かわはく No.32

CONTENTS

平成20年度特別展「巨大昆虫の世界 パート2」	2~5
かわはくの展示から「スロープ展示 荒川のカエルたち」	6
秋の企画展のお知らせ	7

2008 7/19(土)~8/31(日)

平成20年度
特別展

イベント情報

- 特別展記念講演会「昆虫採集から広がる世界」
講師・長畑直和氏(テレビ東京「TVチャンピオン」昆虫王)
日時・8月2日(土) 13:30~15:00
定員・30名(申し込み順) 参加費・無料(要観覧料)
- かわはくサタデーミュージアム「昆虫採集-観察教室」
日時・8月9日(土) ①10:30~12:00 ②15:00~16:30
定員・各20名(申し込み順) 参加費・100円

※特別展記念講演会・昆虫採集観察教室は、
観覧券(400円)・400円・500円・600円・700円・800円・900円・1,000円

巨大 昆虫 世界の



パート2

でかい虫・へんな虫



観覧時間 ● 9:00~17:30
※ただし土・日・祝と8/11~8/16は9:00~16:00
休館日 ● 期間中は無休
観覧料 ● 一般 400円(240円) 学生 高校生 200円(120円)
※小学生以下、幼児以上、高齢者半額(小学生以下は半額)
※小学生以下、幼児以上、高齢者半額(小学生以下は半額)
駐車料金 ● 普通車 300円 / バス 1,000円
会場 ● 川口博物館 第2展示室



〒320-1111 埼玉県川口市大宮南1-1-1
TEL:049-587-7222 FAX:049-587-7222
<http://www.zover-museum.jp/>

主催 ● 埼玉県立自然の博物館
協力 ● 長畑直和氏(テレビ東京「TVチャンピオン」昆虫王)
協賛 ● 川口博物館 第2展示室

企画 ● 埼玉県立自然の博物館
協力 ● 長畑直和 (テレビ東京「TVチャンピオン」昆虫王)



平成20年度特別展

「巨大昆虫の世界 パート2」

開催期間 平成20年7月19日（土）～8月31日（日）

埼玉県立川の博物館では平成18年度、埼玉県立自然の博物館企画の特別展として「巨大昆虫の世界」を開催しました。今年度の特別展では、この続編として「巨大昆虫の世界パート2」を開催することとなりました。

昆虫といえば、虫かごを肩にかけアミを手にチョウを追いかけたり、指先に細心の注意を集中させながらトンボを捕まえようとしたりと、身近に感じている人も多くいるかと思えます。しかし、日本に住むわたしたちには思いもよらないような巨大な昆虫が、南米や東南アジアには生息しています。今回の展示では、「巨大昆虫の世界」に引き続き、アマチュア昆虫研究家、長畑直和氏の収蔵コレクションを中心に多種類を展示します。

内容は展示のサブタイトル、でかい虫、へんな虫、を中心に南米産の美しいチョウや巨大なコウチュウが主なものになります。珍しい虫・かわった虫など見どころも多く含まれます。以下にその代表的なものを紹介します。昆虫の世界の多様性を色や形で見ることができ、新たな発見ができると思えます。

① チョウの仲間

チョウ類は世界に2万種類いるといわれています。



ブルキシタアゲハ

す。中南米には世界の約半数に近い種類のチョウが分布し、華麗な姿を競い合っています。雄の翅が金属光沢に輝くモルフォチョウや空飛ぶ宝石といわれているミイロタテハ、毒をもつドクチョウなど多種類のチョウが知られています。とても大きなガの仲間なども展示いたします。



ゴクラクトリバネアゲハ



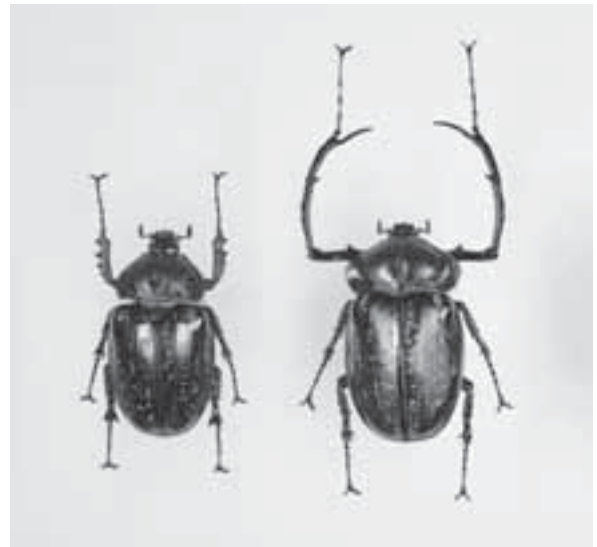
ヨナグニサン



マダガスカルオナガヤママユ

② コウチュウの仲間

コウチュウの仲間は、世界で約37万種類が知られています。巨大な昆虫でよく知られているカブトムシもこの仲間です。頭や胸に数本の角をも



テナガコガネ



つのがカブトムシの特徴です。しかし、小型の種類には角をもたないものもあり、世界に約1000種類のカブトムシが知られています。その多くは熱帯や亜熱帯地方に生息しています。日本では4種類が知られています。



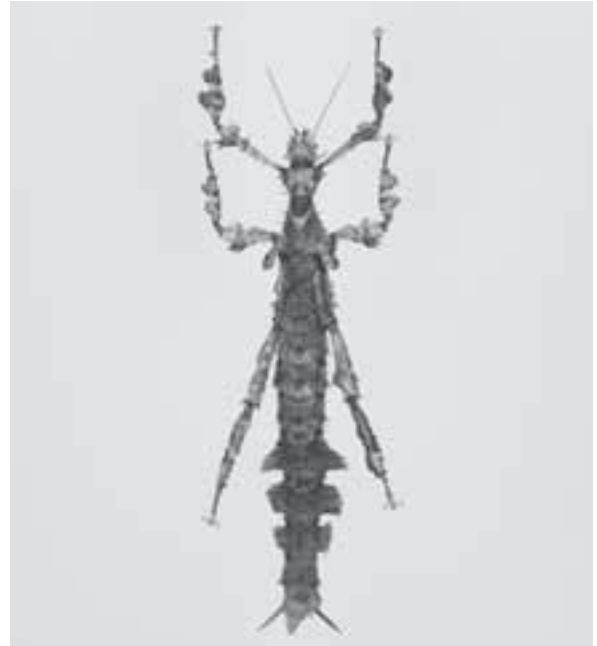
ヘラクレスオオカブトムシ



ゴライアスオオツノハナムグリの仲間

③ ナナフシの仲間

世界で約2500種類が知られています。ナナフシの仲間は、変わった形が特徴です。昼間はあまり動かず、夜になると葉っぱを食べるために活動します。そのほとんどがハネを持たず歩くことで移動をします。中にはハネを持つものもありますが、羽ばたいて飛ぶような形ではありません。



ヒレアシトゲナナフシ



コノハムシ



④ ハエの仲間

世界で約15万種類いるといわれています。ハエというと日本では汚いイメージがありますが、じつは花粉を運んだりする植物のパートナーでもあります。今回展示するハエの中には目が極端に離れている、シュモクバエの仲間を展示します。



シュモクバエの仲間



シュモクバエの顔を拡大

⑤ セミ・カメムシの仲間

世界に約8万2000種類いるといわれています。くさいにおいを出すカメムシと大きな声で夏をにぎわすセミは、じつは同じ仲間です。口がストローのような形をしていて植物の樹液を吸います。今回展示するテイオウゼミはミンミンゼミの約2.5倍もの大きさです。実際に鳴き声を聞いてみたいですね。



テイオウゼミ (左) とミンミンゼミ (右)

⑥ トピックス展示 ウミアメンボ

小さな体ででかい虫！？

大ききこそ1センチほどの虫ですが、太平洋で暮らし、広い生活圏を持つことで、「でかい虫」として紹介させてもらいました(表紙写真)。この虫は、盛口満氏著の「ゲッチョ昆虫記」(2007年、どうぶつ社)に長畑氏の虫への情熱とともに紹介されました。ナゾ多きこのアメンボを盛口氏の描いた原画もあわせて展示いたします。

身近な昆虫を観察してみよう

私たちの身の回りには必ずと言っていいほど、多くの虫たちがくらしています。

毎日、通る通勤・通学路などは絶好の観察ポイントです。

チョウが何匹飛んでいた、セミがはじめて鳴いた日はあの日だ、アカトンボが止まる枝はこの枝、など1年間のメモを取っておくと、すばらしい観察日記が出来上がります。

最近、もともと西日本に多く住む昆虫が関東地方でも見られるようになってきています。地球の温暖化によるものとも言われていますが、本当のことはわかりません。

虫たちはそれぞれの種類に好きな場所があり、観察を続けることで身近な環境の変化などもわかることがあります。

ぜひ、身近な虫たちを観察してみてください。

近年、分布を北に拡大しつつある昆虫



ツマグロヒョウモン

※ツマグロヒョウモン以外の写真は長畑コレクションより複写、引用させていただきました。

(研究交流部 石井克彦)



かわはくの
の
展示から

「スロープ展示 荒川のカエルたち」

2,000メートル級の山々が連なる秩父山地から、東京湾にいたる荒川流域にはさまざまな動物が生息しています。第1展示室スロープ展示「荒川の表情」では、5月13日より「荒川のカエルたち」がスタートしました。埼玉県内では18種の両生類が記録されていますが、今回の展示ではその中でも荒川の中・上流部に生息している主なカエル6種、サンショウウオ2種、イモリ1種を紹介しています。

昨年、海外でカエルなど両生類に大きな影響をおよぼしたカエルツボカビ症が、わが国に侵入したことが全国紙やテレビで大々的に報道され、注目されました。両生類の減少は世界中で報告されており、その原因にはさまざまなことが考えられていますが、その中でも最も大きな原因は、人類の営みが両生類の生活する場所を奪っていること

です。大切なすみかである水辺は、近年急激に環境破壊が進んでいます。池や沼、田んぼは埋め立てられ、整備によって乾燥化が進んでいます。また、川ではコンクリート護岸、ダム の 造成によって、隠れ場所や卵を産む場所が奪われています。

国際自然保護連合と国際動物園水族館協会は2008年を「国際カエル年・YEAR OF THE FROG」として世界キャンペーンを呼び掛けています。これは、両生類の絶滅の危機に対して、世間の理解を高めていくのが目的です。

5月から7月にかけて当館前のかわせみ河原では、「フィフィフィ」という透きとおった美声を響かせているカジカガエルが繁殖期を迎えています。今年はぜひカエルたちに注目してみたいはいかがでしょうか。

(研究交流部 藤田宏之)



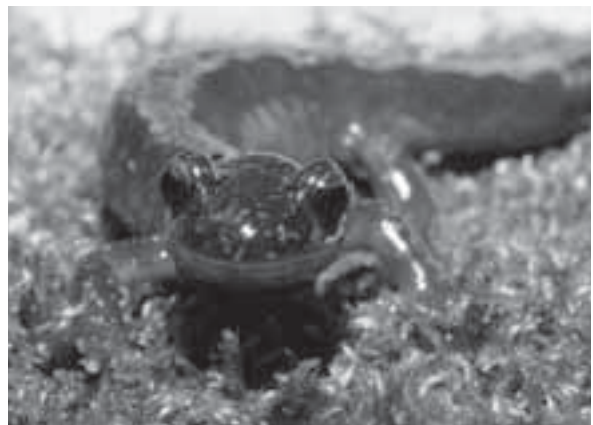
カジカガエル (アオガエル科)



アカハライモリ (イモリ科)



アズマヒキガエル (ヒキガエル科)



ハコネサンショウウオ (サンショウウオ科)

秋の企画展のお知らせ

平成20年度 秋期企画展

きのこのノート

- 森をささえる 菌の華 -

光るきのこ展示！



ヤコウタケ



ニオウシメジ

9月27日(土)~11月16日(日)

さまざまなキャラクター、雑貨などのデザイン、食卓でもおなじみのきのこ。その正体は、分解者として自然界をささえる菌類（カビなどのなかま）の「花」。「花」といってもタネはつくり、胞子で子孫をのこします。ユニークな形や色、くらしぶり、動植物との不思議な関係。人の生活とも関わりの深い、知られざるきのこワールドにご招待します！

(自然の博物館 学芸員 須田 大樹)

会場：埼玉県立川の博物館（第2展示室）

企画：埼玉県立自然の博物館

8月

7/19/土~8/31/日

特別展「巨大昆虫の世界パート2」

- 7/20/日** 川のいきもの観察教室
時間：13:30~15:00 定員：20人（申込順）☎
費用：100円（保険料） 内容：川のいきものを採集・観察。
- 7/27/日** かわはく夏祭り
時間：10:00~16:00
内容：子ども向けイベント、演奏会など。
- 8/2/土** 特別展記念講演会「昆虫採集から広がる世界」
講師：長畑直和氏（テレビチャンピオン2昆虫王）
定員：80人（申込順）☎
- 3/日** 水の日記念イベント「利き水大会」
時間：10:30~ 13:30~
- 9/土** かわはくサタデーミュージアム「昆虫採集・観察教室」
時間：10:30~ 15:30~ 定員：各20人（申込順）☎
費用：100円 内容：身近な昆虫を採集して観察しよう。
- 22/金** 伝統漁法体験
時間：10:00~ 14:00~ 定員：各50人（申込順）☎
費用：400円（保険料）

9月

9/27/土~11/16/日

企画展「きのこノートー森をささえる菌の華ー」

- 14/日** 魚の飼い方教室たのしみ編
時間：13:30~15:00
定員：25人（申込順）☎
費用：100円（保険料）
内容：川原の石や流木などを使った水槽のディスプレイ
- 20/土** かわはくサタデーミュージアム「手作り箱めがねで川底探検」
時間：10:30~ 14:00~
定員：各32人（申込順）☎
費用：200円
内容：箱めがねを作って荒川の底をのぞいてみよう。
- 28/日** 映画会「人形アニメ カ太郎」
時間：13:30~ 14:30~
定員：80人（先着順）
費用：無料
内容：子ども向けの映画です。

かわはくで学ぼう!!

イベント情報コーナー

10月

12/日

親子で社会科見学「ダムめぐりバスツアー」
時間：9:30~15:00 定員：40人（申込順）☎
費用：1,000円（バス代・保険料）
内容：荒川水系中津川に位置する滝沢ダム（秩父市）ほか見学。

- 19/日** 秋を感じるかわはくウォーキング
時間：9:30~12:30
定員：20人（申込順）☎
費用：100円（保険料）
内容：かわはく周辺を散策
- 25/土** かわはくサタデーミュージアム「野草観察と押し花カード作り」
時間：10:30~ 14:00~
定員：各32人（申込順）☎
費用：100円
内容：秋に咲く草花をさがして、押し花カードを作ろう。
- 26/日** 映画会「だるまちゃんとなぐちゃん」
時間：13:30~ 14:30~
定員：80人（先着順） 費用：無料
内容：子ども向けの映画です。

11月

14/金

かわはく秋祭り
ー県民の日イベントー
時間：10:00~16:00
内容：子ども向けイベントほか。

- 22/土** かわはくサタデーミュージアム「スクリー船をつくろう」
時間：10:30~ 14:00~
定員：各32人（申込順）☎
費用：200円
- 23/日** 映画会「クマのプーさん プーさんと大あらし」
時間：13:30~ 14:30~
定員：80人（先着順）
費用：無料
内容：子ども向けの映画です。
- 29/土** 荒川ゼミナール「食と環境①」伝統食を訪ねる秋のバスツアー
時間：10:00~16:00
定員：40人（申込順）☎
費用：1,000円（バス代・保険料）

ホームページでも紹介しています！

<http://www.river-museum.jp/index.htm>

【お願い】①行事は都合により変更になることもあります。ご了承下さい。②☎印のついた行事は事前申込みが必要です。電話またはFAX、Eメールでお申し込みください。③定員になりしだい締め切ります。④川の情報もお寄せ下さい。

■編集・発行

埼玉県立川の博物館

〒369-1217 埼玉県大里郡寄居町大字小園39番地

TEL/048-581-8739(研究交流部) FAX/048-581-7332

Eメール/web-master@river-museum.jp



彩の国さいたま

2008年7月7日発行

